



岐阜市地域包括支援センター

岩野田だより

38号

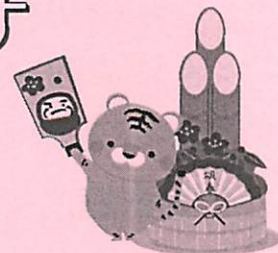
令和4年1月

あけましておめでとうございます

本年もよろしくお願いたします

今年も岩野田だよりを通して

皆さまに役立つ情報をお届けしてまいります



今回は、まだまだ一般的に知られていない**若年性認知症**について取り上げます。認知症は、一般的には高齢者に多い病気ですが、**65歳未満で発症した場合、「若年性認知症」と**されます。

**若年性認知症**は働き盛りの世代で発症するため、ご本人だけでなく、ご家族の生活への影響が大きくなりやすい特徴があります。

## 若年性認知症（調査時65歳未満）の基礎疾患の内訳

レビー小体型認知症/パーキンソン病による認知症, 4.1%

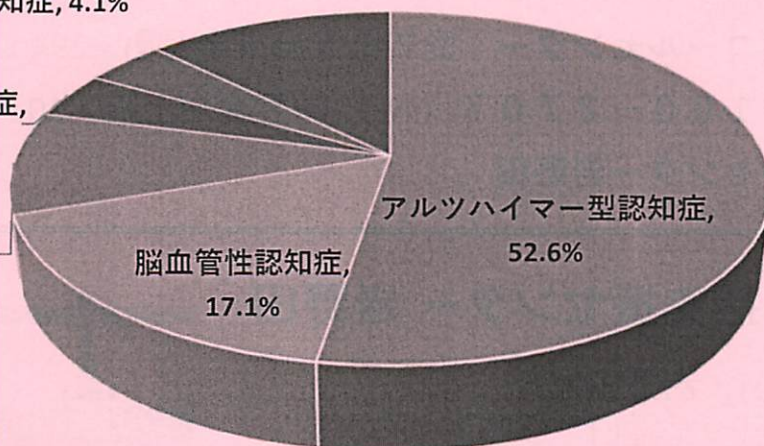
その他, 12.6%

外傷による認知症, 4.2%

前頭側頭型認知症, 9.4%

脳血管性認知症, 17.1%

アルツハイマー型認知症, 52.6%

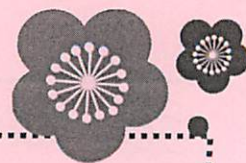


日本における**65歳以上の認知症の人の数は約600万人**と推計され、**若年性認知症の人の数は、3.57万人**と推計されています（令和2年時点）。

若年性認知症の原因となる病気は様々ですが、国の調査では、**アルツハイマー型認知症が最も多く、脳血管性認知症、前頭側頭型認知症が次に多い**です。



## 若年性と高齢者の認知症の違いは？



- ①発症年齢が若い 平均の発症年齢は54歳くらいです。
- ②男性に多い 女性が多い高齢者の認知症と違い、男性が女性より少し多くなっています。
- ③初期症状が認知症特有のものではないため診断が難しく、専門医への受診が遅れる
- ④経済的な問題が大きい 発症時、働き盛りで一家の生計を支えている人が多く、休職や退職により、経済的に困窮する可能性があります。
- ⑤家庭内での課題が多い 夫婦間の問題、子どもの養育、結婚など、親が最も必要とされる時期に、認知症になり、あるいは介護者になることは、家庭内に大きな問題を引き起こします。高齢者の場合は、配偶者と共に子ども世代も介護を担うことが多いですが、若年性の場合は子どもがまだ若いため、配偶者にかかる負担が大きくなります。

出典：若年性認知症ハンドブック（改定4版）、岐阜県若年性認知症支援ガイドブック

## 自分や家族のことで不安に思われたら相談してみましょ

○かかりつけ医の先生

○岐阜県若年性認知症支援センター 大垣市中野町1-307（大垣病院内）

☎ 0584-78-7182（平日9:00~15:00）

○若年性認知症コールセンター 愛知県大府市半月町3-294

☎ 0800-100-2707（フーダイル月曜~土曜 10:00~15:00）

○地域包括支援センター岩野田

### 岐阜市地域包括支援センター 岩野田

○担当地区 岩野田・岩野田北

○開所時間 月曜日~土曜日 9:00-17:00  
（祝日・年末年始を除く）

○ご相談は無料です

○秘密は厳守いたします

岐阜市栗野東5丁目173番1

058-214-4640

（開所時間外の緊急時の相談は、転送電話で対応）

担当：井藤・木下・西村・中村・草間

